

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県御勅使南公園	所管課	県土整備部 都市計画課
所在地	南アルプス市六科1588-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年11月1日
指定管理者	株式会社富士グリーンテック		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	(1)都市公園としての①～③の機能を発揮すること。 ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮していくこと ③良好な緑地景観、環境を提供すること (2)スポーツの場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 35.4ha ○施設の内容 ・ラグビー場(34,000㎡、メイン・サブ2面) ・管理事務所(RC造平屋建、延床面積300㎡) ・遊具広場(25,000㎡) ・徒渉池(1,200㎡) ・疎林広場(4,280㎡) ・トリムコース(3,400㎡) ・その他(中央広場、緑地、園路広場、駐車場、駐輪場)		
主な業務内容	(1)公園施設及び設置器具等の維持保全 (2)有料施設の利用承認 (3)県が実施する大会等への協力		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	曾根丘陵公園、富士川クラフトパーク
------------------------------	-------------------

3 利用状況

単位:人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	237,572	271,651	286,540	
	(内有料施設利用者数)	(16,527)	(17,126)	(18,544)	
	利用者数合計	237,572	271,651	286,540	
	目標値	202,000	246,000	278,000	287,000
	目標値設定の考え方及びその理由	過去3年実績平均値	前年度実績×104%	前年度実績×103%	前年度実績
	対26年度比		114.3%	120.6%	
利用率		651人/日	744人/日	785人/日	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料	675,380	864,000	736,580	750,000
	指定管理者委託料	79,961,000	78,629,000	78,629,000	80,054,000
	その他	1,335,000	2,619,000	1,431,034	1,547,000
	収入合計(A)	81,971,380	82,112,000	80,796,614	82,351,000
支出	人件費	20,627,290	20,388,000	21,586,130	20,388,000
	県への納付金				
	管理運営費	60,839,964	61,724,000	58,658,273	61,963,000
	うち外部委託費(B)	22,133,122	25,000,000	25,507,967	25,500,000
	支出合計(C)	81,467,254	82,112,000	80,244,403	82,351,000
収支差額(A-C)		504,126		552,211	
外部委託比率(B÷C)		27.2%	30.4%	31.8%	31.0%
利用者一人当たりの経費		294.4	282.8	274.4	278.9

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成28年4月～平成29年3月 実施方法:公園利用者へのアンケート 回答数: 200人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	69.0%	31.0%		
トイレや休憩所について	44.0%	44.0%	9.0%	3.0%
園路や広場について	76.0%	24.0%		
園内の情報や案内板について	63.0%	36.0%	1.0%	
園内の安全や防犯について	71.0%	29.0%		
公園スタッフの対応について	71.0%	29.0%		
施設全般の満足度	70.0%	29.0%	1.0%	

利用者の意見	<p>【公園緑地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の山々を含めた松くい虫対策が必要。 ・花壇を多く増やしてほしい。 ・全体的には高評価 <p>【公園施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども専用トイレを充実してほしい。 ・駐車場を増やしてほしい。 <p>【公園利用者サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬の散歩でマナーを守らない人を見かける。
利用者の意見への対応	<p>【公園緑地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松くい虫対策については樹木医による診断や防虫剤散布等を実施している。 ・平成29年度事業でハーブ庭園及び花壇を自主事業にて増設する。 <p>【公園施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状対応として、特に乳児を連れた保護者の方にはパークハウス内の多目的トイレや授乳室を利用して頂いている。尚、子ども専用トイレの設置については、県と協議し対応していく。 ・混雑が予想される時期に団体利用予約等がある時には、河川敷を臨時駐車場として開放し対応している。 <p>【公園利用者サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状対応として、スタッフによる声掛けや公園内で開催する犬のマナー教室等により啓発啓蒙を促している。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>施設の保守管理については日常点検等において経年劣化による不具合がないか注意し、必要に応じて利用禁止措置や計画的改善要望及び初期対応、順応型管理を心掛けている。</p> <p>清掃は、周辺の管理範囲外についてもスタッフがボランティアで対応している。</p>	<p>樹木医による診断を定期的に行い、病害の早期発見や順応型対処を行うことで、適切に維持管理業務を行っている。また、隣接地の清掃を実施することで、周辺環境の美化にも努めている。</p>
運営業務	<p>年中無休、フルタイムで巡回・巡視を行いながら利用者との距離を縮める努力をしておき、管理運営の『見える化』でリピーターを含む来園者の増加を継続させている。</p> <p>またスマートフォン等の携帯端末に対応するため、SNSでの情報発信やフリーペーパーへの情報提供により閲覧者を増加させている。</p>	<p>事業計画書に沿った職員配置を行い、細かい箇所まで目が行き届く運営体制を整えている。また、SNS等を活用し広報活動を行うことで、利用者増加に努めている。</p> <p>清掃業務については、隣接する社会福祉村に委託することで、障害者の社会復帰支援に寄与している。</p>
利用状況	<p>利用者の増加や利用者満足度の向上を図るため、様々な取り組みを行っている。</p> <p>特にクロスカントリーコースを活用し、県の一大イベントである山梨県クロスカントリー大会は、毎年大勢のアスリートの参加がある。</p> <p>また、SNS発信やロコミなどにより、ジョギングコースも県内外の利用者が増加している。</p>	<p>クロスカントリーコースについて、公園ホームページやSNS等の広報活動により認知度が高まっている。また、自社の強みを生かして管理している高水準の芝生のグラウンドを維持することで、利用者は着実に増加している。</p>
収支状況	<p>光熱水費は毎年、ピーク電力を調整し支出を抑制している。</p> <p>光熱水費等を抑制した分、職員を増員し、初期対応と予防管理をすることで、経年劣化による修繕や維持管理に即対応できる体制とした。</p>	<p>ピーク電力値を抑制することで、電気料の削減に努めている。また、直営管理を強化することで、修繕費等の削減にも努めている。</p>
自主事業	<p>自主事業として開設したジョギングコースを利用したアスリート強化事業として他県からも注目される一大イベントとして確立できている。また環境事業として行っている、今では毎年恒例となった自然学習教室や新しく始めたクラフト教室の催しにより、公園利用の促進を図ることができた。</p>	<p>クロスカントリーコースの認知度は年々高くなっており、大会の開催が公園利用者の増につながっている。また、苗木の植付けやハーブを扱った教室等においても利用者から高評価であり、公園利用者の増につながっている。</p>
利用者満足度	<p>当公園の管理運営も11年が経過し、公園サービス全般では、概ね高い評価を頂いている。今後都市公園法改正やその他の公設民営に関する様々な動向を踏まえ、常に利用者目線で、気づきの心を持って、更なる利用者サービスの向上を目指す。</p>	<p>高い評価を得ている。今後も適切な管理運営を行うことで高い満足度を維持出来るように努めること。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>運営目標の指標</p> <p>①来園者数 目標値 278,000人 → 実績値 286,540人</p> <p>②来園者数のうち有料公園施設利用者数 目標値 17,000人 → 実績値 18,544人</p> <p>リニューアルした遊戯ゾーンや自主整備したジョギングコースが県内外利用者に浸透した結果、平日の利用が増加した。また専門インストラクターの指導によるみだいカルチャーくらぶやリアルタイムな四季の公園情報がSNSにより拡散され、県外からの利用者が多く訪れるようになり、入園者数は目標を上回った。また有料公園施設についても目標を上回った。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>公園のホームページに加え、SNSを有効に活用することで、クロスカントリーコースや高水準で芝の管理をしているグラウンド、多彩な遊具など公園の魅力を発信し、公園利用者の増加に努めている。</p> <p>今後も適切な維持管理運営を行い、各種教室などの自主事業を行うなかで、利用者の高い満足度を維持しつつ、更なる公園利用者の増加に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>新たな取組みとして、専門インストラクターによる3部門のカルチャー教室を開催した。恒例行事となったクロスカントリー大会やクラブト及び環境屋外教室等と併せ、今後も公園資産の有効活用に取組んでいく。</p> <p>また、これらの成果もあり、県外からの公園利用者が増えてきており、今後は他公園との連携も含めて、都市公園から全国へ山梨の魅力を発信できるような企画で付加価値の向上を目指す。</p>

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在

